



フィルム
コミッション
通信

土浦ロケ作品案内

岡土浦フィルムコミッション
(シティプロモーション室内
☎内線2324)

映画「この夏の星を見る」7月4日(金)公開



土浦三高科学部の天文活動がモデルとなった、直木賞作家・辻村深月さんの同名小説が映画化されます。本作は実際に同校でロケが行われたり、科学部顧問の教諭が天文監修をしたりと、土浦との縁が深い作品となっています。ぜひご覧ください。

★作品介绍★

新型コロナウイルス感染症の蔓延により、これまでの日常が失われた2020年。誰も経験したことのない事態の中で、大人以上に複雑な思いを抱えた中高生たちの、天体観測を通じた青春を描く。

★土浦ロケ出演俳優

桜田 ひより、水沢 林太郎、河村 花、増井 湖々、安達 木乃、岡部 たかし ほか

★土浦ロケ地

土浦第三高等学校、朝日峠展望公園 ほか
シネマサンシャイン土浦(イオンモール土浦内) ほか上映
原作：辻村 深月『この夏の星を見る』/KADOKAWA
監督：山元 環 脚本：森野 マッシュ
配給：東映



(上段) 撮影風景、(下段) 映画のワンシーン

岡村 典夫さん

(土浦三高科学部顧問・天文監修を担当)

新型コロナウイルス感染症蔓延当時の、中高生たちの揺れ動く心理描写が丁寧に描かれた作品です。俳優やスタッフの皆さんの、仕事に取り組む姿勢が素晴らしく、雰囲気がとてもよい撮影現場でした。天文監修をするにあたり、望遠鏡の使い方など、各所リアリティーをできる限り追求して、細部までこだわりました。こちらもぜひ注目してみてください。



岡村教諭(左)と土浦三高科学部の皆さん



桜田 ひよりさん・山元 環監督 Special Interview



(左から)監督：山元 環さん 主演：桜田 ひよりさん(溪本 亜紗役)

——— お2人に撮影のときのエピソードや、皆さんへのメッセージをお伺いしました。

桜田さん

作品のモデルになった場所を撮影で使っていただくようなことは珍しく、またそこで生徒さん達が実際に使っているものをそのまま撮影で使用したりしたので、本当に自分がここに通っているのではないかと錯覚するほどでした。このような環境で撮影できるのはとてもありがたいね、と共演者の方とも話をしていました。茨城県でたくさん撮影した作品なので、県内の方にぜひ見ていただきたいです。自分たちが目指していたものが無くなってしまって、何かポッカリ気持ちに穴が開いたような状態のときでも、1つのアイデアや行動で、こんなにもキラキラ輝くことができるんだ、ということを証明できた映画だと思います。幅広い世代の方に見ていただいて、ご自身の中で何か1つでも見つけてもらえたらいいなと思っています。



山元さん

土浦を含め茨城は空が広い場所だな、日本のいい風景がたくさんあってすごく素敵な土地だな、と思いました。天文監修いただいた岡村先生は、作中に出てくる綿引先生そのまま、撮影現場に綿引先生が2人いるような感じでした。この作品は、コロナ禍のような先も見えない不安な状況のなかでも、自分の内面を見つめ直して、未来のために足を進めていくという物語になっています。登場人物の中に敵のような存在がいなくて、映画作品にするとときに難しく感じたところです。ひよりさんを始め皆さんがとてもみずみずしく演じてくださったこともあり、作中に推し、というか愛せるキャラクターが必ず1人は登場すると思います。それを見つけてもらったりと、いろいろな楽しみ方をしてほしいです。

映画「この夏の星を見る」公開記念展 in 土浦

—この夏、映画の舞台へ—

パネルや使用した小道具などを展示します。

期間 7月31日(木)まで 午前10時～午後9時

場所 イオンモール土浦 3階 書店前

身近な場所がロケ地になるかも？！

ロケ地候補を募集しています

自宅、店舗、工場、空き地など、いろいろな物件が対象になります。登録方法など、詳しくはホームページをご覧ください。

